

「すくすく のびのび 子どもの生活習慣向上」新 キャンペーン



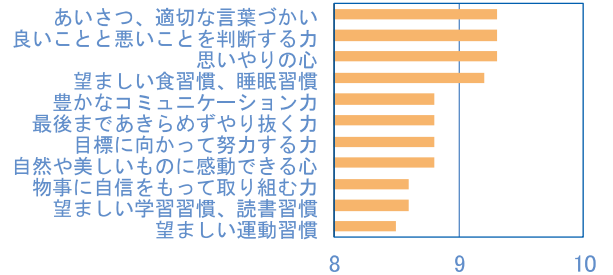
～みんなで育てる さいたまの子ども～

教育委員会では、これまで3年間行ってきたキャンペーンを終了し、新キャンペーンを実施します。

昨年、市PTA協議会に御協力いただき、各校のPTA役員等を対象にアンケートを実施しました。その結果から、これまでの成果と課題を分析し、子どもの生活習慣等に関する保護者の思いや願いを把握することができました。

このことを踏まえ、学校・家庭・地域が「望ましい生活習慣等を身に付けた子どもの姿」を共有できるよう、新キャッチフレーズを「みんなで育てるさいたまの子ども」とし、目指す子どもの姿を次のように設定しました。

「子どもに身に付けてほしい生活習慣等」の結果



※各項目について、それぞれ10段階で評価したものを「すくすく のびのび 子どもの生活習慣向上」キャンペーンに係るアンケートより

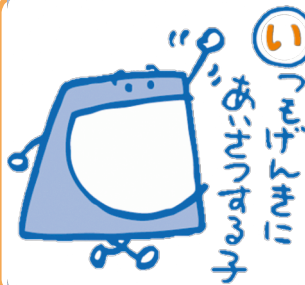
クイズ：○だけつなげると…？



さ 最後までやり抜く子

失敗は、うまくいかないということを確認した「成功」です！

成功体験は、子どものやる気を高めます。しかし、いつも成功するとは限りません。「成功」「失敗」の結果のみならず、過程に目を向けさせることが大切です。もし、よい結果につながらず、失敗したとしても、失敗は無駄にはならないことを伝え、温かく励ましましょう。



い いつも元気にあいさつする子

笑顔で、あいさつしよう！

世界中にあいさつの言葉があるように、あいさつはコミュニケーションの基本です。グローバル化や情報化が進む社会だからこそ、あいさつの意義を再確認しましょう。まずは、大人が手本を見せ、あいさつの大切さを伝えていきたいものです。



た 体験から学ぶ子

体験活動やボランティア活動に参加しよう！

情報機器の発展により、バーチャル体験がリアリティを増し、直接体験の機会減少による影響が懸念されています。学校での学びが体験活動に結び付くと、学びは楽しいものになります。家族で、公民館や地域での多様な活動に、積極的に参加してみてください。



ま マナーとルールを守る子

みんなが気持ちよくなる行動をとろう！

マナーやルールは人と人が交流をし、互いを尊重し合うために大切なものです。

「自分さえよければよい」のではなく、ときには、がまんすることが必要であることも伝えましょう。



9 ノーメディアデーに家族との会話を楽しむ子

メディア（テレビ、ゲーム、インターネット）のルールをつくらう！

インターネット社会を生きる子どもたちには、情報機器の正しい使い方を理解させるとともに、一日に利用する時間を決めるなど、親子でメディアのルールについて話し合うことが大切です。毎月23日はノーメディアデーとして、家族との会話を楽しみましょう。



10 困ったときに助け合う子

困っている人には、「お互い様」の心で声をかけよう！

困っている人に声をかけることは、とても勇気のいることです。でも、自分が困っているときに声をかけられると、うれしい気持ちになります。人は互いに関わり合って生きていくことに気付くことができるよう、人と協力すれば「もっとできる」ということを、体験として理解することが大切です。



11 読書で言葉を豊かにする子

読書タイムで、言葉の世界を楽しもう！

本を読むことで、これまで知らなかった言葉や表現に出会い、思考力や想像力が身に付きます。子どもの読書習慣の定着には、読み聞かせや親が読書をする姿を見せることも大切です。



12 目標をもって活動する子

目標を立て、一つずつ取り組もう！

少し頑張れば達成できそうな小さな目標を一つずつ実現させていくことで、意欲を継続させながら行動することができます。目標は、子どもと話し合って決め、達成できるよう励ましの言葉をかけたり、達成できたら称賛の言葉をかけたりすることが大切です。



13 早寝・早起き・朝ごはんを実践する子

一日を気持ちよく生活できるリズムをつくらう！

子どもの健やかな成長には、規則正しい生活リズムが大切です。就寝時刻や起床時刻、また、朝食を食べる時間や家庭学習をする時間などを決め、毎日「一定のリズム」で生活できるようにすることで、ストレスを抑えることも言われています。

答え：さいたまの子どもは



新規「『自分発見！』チャレンジさいたま」事業始動

この事業は、これまでの体験活動にボランティア活動を加え、対象年齢も拡充した新たな取組です。今年度の活動は6月頃にホームページに掲載予定です。

※夏季休業中に行う活動もあります。

で検索！

